◆序章:報告書の概要

【報告書について】

- 当財団が平成30年度(2018年)に実施した一般社団法人 日本トップリーグ連携機構に加盟する各リーグ所属の 全国各地のトップスポーツ組織(プロ・実業団・大学)を対象に実施した「トップスポーツ組織の地域振興活動に関する 調査」に協力いただいた全91組織(クラブ・チーム)の回答結果を分析し掲載しています。
 - ※本調査にあたり、サッカーJリーグで過去から継続実施中の「地域における普及・振興活動調査」を参考としています。

【全体構成について】

- ●本報告書は以下で構成されています。
 - ① (調査協力いただいた) トップスポーツ組織 (クラブ・チーム) の基本属性
 - ② 各設問に対する回答結果の分析

【その他】

- ●回答クラブ・チーム数極少のリーグ(リーグ加盟クラブ・チーム総数に対し回答クラブ・チーム数が少ない、の意味)は、 本分析結果が調査対象である該当リーグ全体の傾向や特徴を示していない可能性があります。
- ●フリーコメント等、一部設問について本報告書に調査結果を掲載していない場合があります。

調査の概要

【概要】 異なる背景や事業目的を有すトップスポーツ組織(クラブ・チーム)の取組みを、共通指標で比較可能なデータとして収集し、 各組織におけるファン・スポンサー獲得・競技人口増など地域スポーツ振興や事業の安定拡大等の施策検討時への貢献を目指す。

【成果】・競技種目ごとのトップスポーツ組織の取組みにおける特徴を報告書にまとめる。

・自チームの特徴が明確になり、今後どのような取り組みを行うべきかの施策立案に役立つデータベースの作成。

※本調査によって期待されるベネフィット

・プロスポーツ組織:地域密着型の事業強化に役立ち、ローカルレベルでのファン層拡大やスポンサー獲得に有用。

・アマスポーツ組織:母体企業(実業団の場合)以外からの多様かつ安定的な支援獲得に有用。

調査手法	➤ WEBアンケートと調査票郵送の併用(選択可)
対象者条件	▶ 日本トップリーグ連携機構加盟チームの内、本調査実施にあたり、協力意思を示した 13リーグ(一部種目は男女を別カウント) 120クラブ・チーム
サンプル数	▶ 91サンプル(回収率75.83%)
実査期間	▶ 2018年7月10日~8月10日
調査実施機関	▶調査主体:公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団▶調査協力:一般社団法人日本トップリーグ連携機構▶調査委託:株式会社サーベイリサーチセンター

調査内容

1)基本属性

- ・チーム名
- ・チーム登録地
- •設立年度
- ・ホームタウンの有無
- ・ホームスタジアムやグラウンドの有無
- ・チームのウェブサイトやSNSなど
- ・ファンクラブの有無
- ・ファンクラブ会員数など
- ・母体企業の有無(有りの場合、その名前)





2) 地域活動への実施内容、頻度、チーム側参加者について

- ・スポーツ教室(規模、回数、参加者数など)
- ・福祉&ボランティア活動(規模、回数など)
- ・地元イベント(具体的内容、規模、回数など)
- ・学校訪問(対象、回数、目的など)
- ・企業訪問(対象、回数、目的など)
- ・地域行政との連携活動(具体的内容など)
- ・スポンサー表敬訪問(規模、回数など)
- ・ファンクラブ等の支援団体向け活動など(具体的内容など)







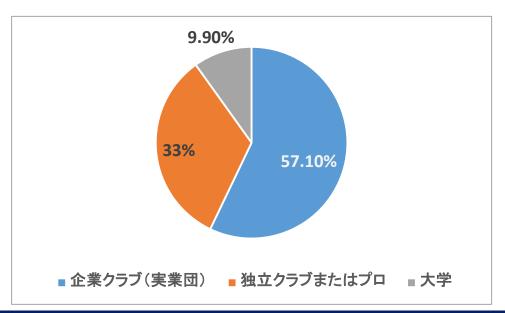
※一部設問が異なる為、調査票を分けて調査実施。 調査票は『チーム向け(企業クラブ。独立/プロ)』と『大学向け(大学系)』の2種類

回答クラブ・チームの基本属性

リーグ別クラブ・チーム数

	Xリーグ	ホッケー男子	ホッケー女子	アイスホッケー	ソフトボール	なでしこリーグ	トップリーグラグビー	W リーグ	Vリーグ男子	Vリーグ女子	リーグ男子ハンドボール	リーグ女子ハンドボール	B リ ーグ
加盟チーム数(n=230)	18	13	10	4	25	32	16	12	24	22	9	9	36
調査協力チーム数(n=120)	14	12	10	2	10	12	16	3	10	11	9	9	2
回答チーム数(n=91)	14	8	7	2	7	12	7	3	8	8	7	6	2
回答チーム数/加盟チーム数の比率	77.8	61.5	70.0	50.0	28.0	37.5	43.8	25.0	33.3	36.4	77.8	66.7	5.6

運営形態別回答クラブ・チーム比率



序章-4